

## 平成 26 年度第 3 回水と緑の森づくり会議委員意見概要

### ●大峠委員

- ・認知度が約 50% というのは、多いのか少ないのかわからない。
- ・メディア等を積極的に活用して、少しずつ事業を宣伝しては。
- ・島根には気軽に入れる森や公園が多いので、一般の人が行ってみようかなという気になるような広報もあると良い。

### ●門脇委員

- ・「水と緑の森づくり税」と「水と緑の森づくり事業」の 2 つを今後どのように PR していくかが課題。
- ・今日の社会では山の公益的機能（山が水を守る・山が環境を守る）を守ることが大事だが、やはり最終的には山で生活できる島根でありたい。

### ●野々村委員

- ・子ども達には、五感に訴えるイベントが効果的。
- ・ボランティア活動は、楽しんでできるものが良い。その方が長続きする。
- ・みーもスクール・みーもサマースクールはぜひ継続して欲しい。

### ●樋口委員

- ・水と緑の森づくり税は知っていたが、事業の内容についてはよく知らなかった。
- ・「みーもの森づくり事業」の審査について、もう少し時間があればじっくり検討ができたのではないかと思った。

### ●梶委員

- ・森を守ったり森づくりをすることが大切なことは分かっているが、実際にイベント等に参加するとか管理をするところまで来る人は少ない。その間を埋めるのがこの事業だと思った。
- ・情報発信について、違う媒体も使ってみたら良い。

### ●高濱委員

- ・島根では、多くの方が森づくりの活動に参加していて驚いた。
- ・島根は森林があり、きれいな水があり、色々な意味で良いところ。
- ・こういった取組を、もっと外へ発信すれば良いと思う。

### ●田中委員

- ・アンケート調査は、地域性等分析があると良い。
- ・子ども達には本物に触れさせたいし、森づくり活動にも参加させたい。
- ・PR も兼ねて、うちの学校でもやってみたい。